

峰村 茜(みねむらあかね) ニッケルハルパ奏者



【プロフィール】

2010年、大学3年次にスウェーデンのルンド大学に交換留学。スウェーデンの文化や人々の生き方に興味を持ち、大学卒業後も留学を重ねる中でニッケルハルパとスウェーデンの伝統音楽に出会う。2016年、東京にてニッケルハルパを習い始める。

2018～2019年にスウェーデンの伝統音楽とフォークダンスの学校「エリック・サールストルム・インスティテューテット(ESI)」に留学。ニッケルハルパの奏法とスウェーデンの伝統音楽について専門的に学ぶ。2019年帰国、日本で演奏活動を開始。

ホームページ：akanenyyckelharpa.com

【経歴】

2010～2011年 早稲田大学在学中、Lund大学へ交換留学

2013～2015年 Blekinge folkhögskola 演劇科修了

2018～2019年 Eric Sahlström Institutet ニッケルハルパ演奏科修了

【ニッケルハルパとは？】

スウェーデンの伝統楽器。スウェーデンの中でも「ウップランド地方(Uppland)」という所で傳承されているが、詳しい起源は謎に包まれている。ニッケルハルパという楽器名の意味は「キーがついている弦楽器」。共鳴弦による豊かな響きが特徴的。

【スウェーデンの伝統音楽とは？】

ダンスの伴奏曲として民衆に親しまれてきた音楽。日常的にも、特別な行事の際にも、様々な場面で演奏される。「ポルスカ」という3拍子の曲が多く、足でリズムを取りながら演奏する。